

- ・ 4月より開始した遠隔点呼（IT点呼）の実証実験について
- ・ 自動点呼の実証実験について
- ・ 運行指示者の一元化の進め方について

※会議資料については、下記リンク先をご覧ください。

→ https://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_tk2_000082.html

(3) バス車内における車いすの固定に関する動画を国土交通省ホームページに掲載しました

（配信日：R3.6.25）

「バス車内における車いすの固定について（動画）」を作成し、国土交通省ホームページに掲載いたしました。

これは、「路線バスに係る車いす事故対策検討会」報告書（R2.12）における車いす事故防止対策の一環として、（公社）日本バス協会、バス事業者、障害当事者団体、（公財）交通エコロジー・モビリティ財団及び（一社）日本車椅子シーティング協会のご協力の下、作成したものです。

バス事業者における車いす固定の習熟やより円滑な固定の実施に向けた研修等に当動画を積極的に取り入れ、運転者への教育・研修の充実を図っていただくなど、幅広い活用にご協力方よろしく願いいたします。

※詳細については、下記リンク先をご覧ください。

<https://www.mlit.go.jp/jidosha/anken/03incaraccident/wheelchairfixing.html>

(4) 貸切バス事業者を対象とした街頭指導の全国一斉実施について

（配信日：R3.6.18）

貸切バス事業は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大により著しく需要が減少しておりますが、今後、観光需要も徐々に回復していくことが予想されるため、本年6月から7月にかけて、貸切バスの街頭指導を全国一斉に実施します。街頭指導を通じて、安全運行の徹底など、輸送の安全確保を図ります。

【街頭指導の概要】

- ① 実施時期：6月21日（月）～7月31日（土）
- ② 実施場所：観光施設（駐車場）、高速道路SA、主要駅、空港など

※詳細については、下記リンク先をご覧ください。

→ https://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha02_hh_000457.html

(5) 貸切バス事業者を対象とした事業者講習会の全国一斉開催について

(配信日：R3.6.4)

貸切バス事業は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により著しく需要が減少しておりますが、このような中で安全を軽視した事業が行われないう、本年6月から7月にかけて貸切バス事業者を対象とした講習会を開催します。

この講習会を通じて、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により運転業務から離れた運転者の運転技量の低下に対する指導監督や、健康起因事故防止対策等を徹底し、輸送の安全確保を図ります。

【講習会の概要】

- ① 実施時期：6月上旬～7月中旬
- ② 実施主体：運輸支局等
- ③ 対象者：貸切バス事業者の統括運行管理者等
- ④ 講習内容：
 - ・ 運転者に対する指導監督の実施
 - ・ 健康管理の重要性
 - ・ 車両の点検整備の実施等

※詳細については、下記リンク先をご覧ください。

→ https://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha02_hh_000454.html

(6) 「不正改造車を排除する運動」の強化月間が始まります～車の不正改造は、事故や環境悪化を引き起こす犯罪です～

(配信日：R3.6.4)

国土交通省では『不正改造車を排除する運動』として、関係省庁・団体と連携し、不正改造を「しない」・「させない」ための啓発活動を行っております。

その一環として、各地方運輸局等が定める「強化月間」が6月1日から始まり（6月：運輸局、10月：内閣府沖縄総合事務局）、街頭検査の実施など、安全・安心な車社会形成のための徹底した取組みを行います。

1. 不正改造を「しない」・「させない」ための啓発活動

- ・ 政府広報ラジオ番組への出演。※JFN系全国38局ネットで放送予定。
- ・ ポスター及びチラシ等の貼付、配布及びSNS等への掲載等により、積極的に広報を実施。

- ・全国のバス事業者の協力による、バス車両への広報横断幕の掲示。

2. 街頭検査の実施（強化月間中132回を計画）

- ・警察機関、独立行政法人自動車技術総合機構、軽自動車検査協会等と連携した街頭検査を実施し、違反車両に対して整備命令を発令。

※コロナウイルス感染症の状況により中止等の可能性有

3. 不正改造車に関する情報収集等

- ・各運輸支局等に「不正改造車・迷惑黒煙情報提供窓口」を設置し、窓口に通報があった情報をもとに、不正改造車ユーザーへ改善・報告を求めるハガキの送付

※詳細については、下記リンク先をご覧ください。

→ https://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha09_hh_000268.html

(7)新型コロナワクチンの接種に係る留意事項について

（配信日：R3.5.28）

現在、全国の自治体において、新型コロナワクチンの接種が進められているところですが、ワクチン接種に係る各種情報は、厚生労働省のホームページに掲載されております。

事業者や運転者の皆様にご留意いただきたい事項を以下にまとめましたので、接種に当たっての参考としていただくようお願いいたします。

1. ワクチン接種の副反応について正しい知識を持った上で、接種に臨むこと。

- ・厚生労働省 新型コロナワクチン トップページ

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_00184.html

- ・厚生労働省 新型コロナワクチンQ&A

<https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/>

2. 接種後の自動車の運転が制限されるわけではないが、接種後1～2日の間は、発熱等の体調変化に注意するとともに、点呼時にも入念に体調確認を行うこと。

3. 接種後、運転中に体調の異変を感じた場合には、無理に運行を継続するのではなく、速やかに営業所に連絡する等の指導を徹底するとともに、営業所において運行中止等の判断・指示を適切に実施するための体制を確保すること。

4. その他、かかりつけ医や産業医にも相談し、健康管理に留意すること。

(8) 路線バスにおける飛沫感染リスク評価と対策について（理化学研究所）

（配信日：R3.3.5）

理化学研究所は3月4日にホームページ上において、路線バスの換気シミュレーション結果を発表しました。

シミュレーションの結果から、

①路線バスの換気性能は高い（窓を閉めていても約3.5分、窓を5cm開けると約2.5分で換気。エアコンフィルタの能力向上により、窓開けしなくても約2分で換気可能。）

②運転者・乗客のマスクの着用の効果は極めて大きい。

ことが分かりました。

エアコンの防塵フィルタをエアロゾルフィルタに交換することで、真冬や真夏など窓を開けづらい季節でも窓開けと同じような換気ができることとなります。

※詳細については、下記リンク先をご覧ください。

→ <https://www.r-ccs.riken.jp/jp/fugaku/corona/projects/tsubokura.html>

(9) 換気シミュレーションを踏まえたタクシー車内における新型コロナウイルスの感染防止対策について（要請）

（配信日：R2.11.27）

今般、スーパーコンピュータ富岳を用いて、タクシーの車内における換気性能や飛沫拡散の状況についてシミュレーションが行われました。

シミュレーションの結果では、タクシーの換気性能は高いこと、運転者・乗客ともにマスク着用の効果は極めて大きいこと等が確認されました。

タクシー車内における感染防止対策については、今般のシミュレーションの結果を踏まえ、車内での感染を防止するために以下の取組を着実に実施いただきますようお願いいたします。

1. エアコンを「外気導入モード」に設定し、風量を通常レベル以上とすることにより、車内換気を徹底することとし、「内気循環モード」は車内での感染リスクを高める可能性があるため可能な限り利用を避けること。

なお、「外気導入モード」について乗客から苦情が寄せられる場合には、乗客の安全・健康を損なわないよう配慮しつつ、スーパーコンピュータ富岳のシミュ

ということです。道路運送車両法により、自動車ユーザーは、自分の自動車が保安基準に適合するよう点検・整備する義務がありますので、忘れずに修理を受けましょう。

